

＜特集＞レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ属菌を病原体とする感染症であり、その病型には、潜伏期間が1～2日と短く軽症で風邪症状に似たポンティアック熱型と肺炎型とがある。肺炎型は、発症後の進行が早いのが特徴で、2～10日の潜伏期間の後、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などに始まり、数日以内に高熱、呼吸器疾患症状が現れ、しばしば48時間以内に重症化する。また、意識障害が現れることもある。高齢者、呼吸器障害や糖尿病などの基礎疾患を持つ者、喫煙者、免疫不全患者等に発症することが多いが、健常人も発症することがある。温泉や循環式浴槽等の入浴歴、土木・粉塵作業歴などがあること、急激な肺炎病態の悪化、 β -ラクタム系抗菌薬が効かない場合にレジオネラ症が疑われることが多い。

レジオネラ属菌は、河川などの淡水や温泉、土壌などに広く分布する。環境中ではアメーバなどの原虫や藻類内で増殖することが知られ、特に冷却塔や循環式浴槽などの人工環境水では、爆発的に増殖することがある。現在登録されている58菌種のうち30菌種がヒトから分離または抗体価上昇の報告がある。過去に行われたレジオネラ肺炎の起炎菌分布調査では、レジオネラ・ニューモフィラが70%を占め、その他のレジオネラ属菌は30%であった。また、レジオネラ・ニューモフィラのうち、血清群1が40%を占めた。

感染経路は、エアロゾルの吸引、誤嚥、粉塵の吸入である。これまでに報告例のある感染源は、冷却塔、循環式浴槽、温泉水、プール、加湿器、ネブライザー、クーラー、シャワーヘッド、噴水などの修景水、製氷機、スプリンクラー、歯科や石加工などの研磨機、自動車洗車機、ミスト発生機などである。発生したエアロゾルを吸引、または誤嚥することで感染した。また腐葉土などの粉塵を吸入することで感染した症例報告がある。

[神戸市における患者発生状況]

感染症法に基づく感染症発生動向調査において、医師に全数届出が義務付けされている四類感染症である。2007年から2016年までに149例が報告された。病型の割合は肺炎型が95%で、ポンティアック熱型が5%であった。月別の集計によると、9月をピークに7月から11月にかけて患者発生が多かった(図1)。患者の年齢分布は60代が最多で、次いで80代、70代であり、高齢者の発症が多い(図2)。また、患者の86%が男性であった。これは本症の特徴でもある。

診断方法は、尿中抗原検査(90%)、抗体の検出(6%)、分離同定による病原体検出(3%)、検体から直接のPCR(1%)であった。尿中抗原検査のうち87%はイムノクロマト法であった。LAMP法を重ねて実施した症例もあった。

届出における推定感染源・感染経路の記載では、不明(57%)、水系感染(39%)、その他(3%)、粉塵感染(1%)であった。水系感染は不明、温泉、公衆浴場、介護施設、共同浴場、ゴルフ場、自宅の風呂、シャワー等があげられていた。

[環境保健研究所における検査について]

生活衛生関係業務の一環として、冷却塔水や温泉等の浴槽水など水環境中のレジオネラ検査を計画的に実施している。過去 10 年間(2007 年～2016 年)のレジオネラ属菌の検出率は、冷却塔水が 20～73%(平均 53%)、浴槽水が 20～46%(平均 35%)であった。

また、感染症法第 15 条に基づき国立感染症研究所と共同でレジオネラ症に対する積極的疫学調査を実施している。臨床分離株レジオネラ・ニューモフィラについては、SBT(sequence based typing)を用いて遺伝子型別解析を行っている。2017 年に分与された臨床分離株 2 株の解析を行った結果、これらは土壌分離株が多く含まれるグループ内の新規の遺伝子型であることが判明した。

[おわりに]

尿中抗原検査については、短時間で結果が得られ、感度・特異性も高いため、多く用いられているが、レジオネラ・ニューモフィラ血清群 1 以外の陽性率は低いこと、また尿中抗原は数週間から数ヶ月にわたって陽性を持続することもあるので、結果の解釈には注意を要する。

臨床分離株の菌種、血清群、遺伝子型などを決定し、どのような株が感染しているかを調査することで、感染源(冷却塔水、浴槽水、土壌等)を推定でき、対策へ貢献できる。

レジオネラ症に対する積極的疫学調査のため、発生届を受理した時点で、保健所予防衛生課より届出医師へ連絡させていただきますので、臨床分離株または喀痰等の検体を譲渡いただけますようご協力をよろしくお願い致します。

神戸市環境保健研究所 感染症部
田中 忍

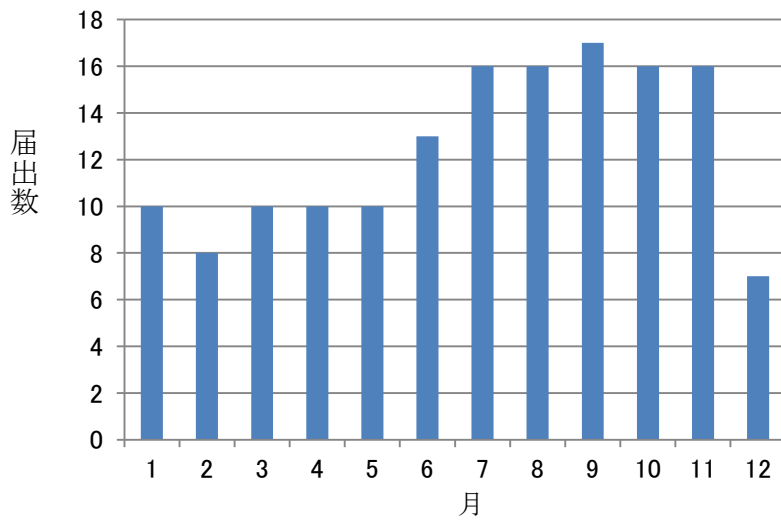


図1 :神戸市における月別届出数
(2007.1~2016.12)

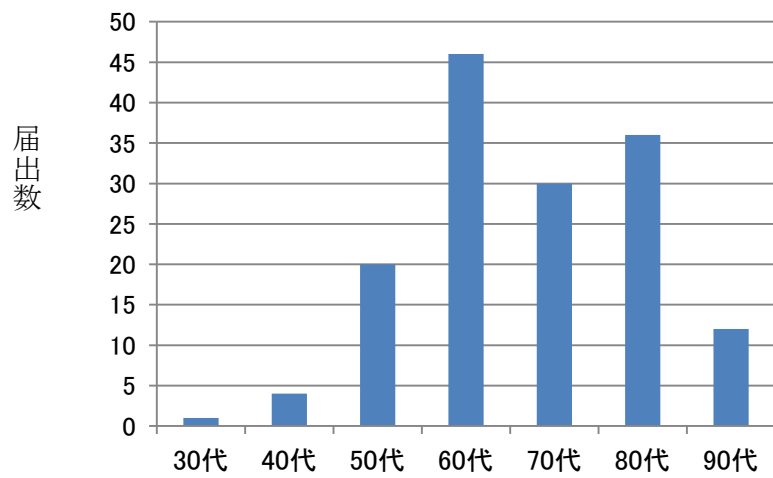


図2 :神戸市における患者年代別届出数
(2007.1~2016.12)